

学校関係者評価委員会報告書

令和2年11月13日

旭川歯科学院専門学校

<ご報告>

本校が行った令和2年度学校自己評価に基づき、学校関係者評価委員会書面会議で行っていただきました評価結果につきましてご報告いたします。

みなさまからいただきました評価につきましては、本校の教育活動および学校運営全般の改善につなげてまいります。

<学校関係者評価委員会書面会議開催>

場 所	書面会議として開催
日 時	令和2年10月 8日（木） 書面による審議依頼 10月31日（土） 回答期限
委 員	安田佳正委員（旭川市議会議長） 竹川政範委員（旭川医科大学歯科口腔外科学講座教授） 池田卓平委員（旭川市立共栄小学校校長） 山本 浩委員（北海道旭川東高等学校事務長） 近藤泰規委員（北海道歯科技工士会旭川支部会専務理事）
事務局	校長 岩田谷 隆 副校長 斉藤幸雄 教務部長 辻 任 事務部長 大久保卓哉 運営委員長 江端正祐

学校自己評価項目	自己評価	関係者評価	学校側コメント
<p>1. 建学の趣旨と教育の方針</p> <p>建学の趣旨と教育の方針は定められているか。</p>	<p>3.4</p>	<p>学校建学の趣旨および教育の方針は適切に定められており、学校の理念・目的・育成人材像は適切に実施、評価されている。将来構想に関してインテグレーションなどで学生・保護者に周知するなど工夫が必要と思われ、社会状況の変化により、オンライン授業の充実が急務である。(竹川)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、開校以来初めて長期にわたる休校を余儀なくされました。講義や実習ができなくなる事態を迎えました。このようなことに対応するため、オンライン強化を含めインテグレーション環境の整備が必要と考えております。将来的にオンライン授業導入を含めて検討してまいります。また、臨地実習及び臨床実習につきましても、受け入れたいかどうかを含めて検討してまいります。</p>
<p>将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いているか。</p>	<p>3.0</p>	<p>新型コロナウイルスの感染対策で、ご苦労されたと思います。公立学校では文部科学省の「GIGA スクール構想」で校内無線LANと端末の整備が進んでいるのと同じことだと思います。ツイッターの活用をされたことは多方面に良い影響を与えていると思います。(山本)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、開校以来初めて長期にわたる休校を余儀なくされました。講義や実習ができなくなる事態を迎えました。このようなことに対応するため、オンライン強化を含めインテグレーション環境の整備が必要と考えております。将来的にオンライン授業導入を含めて検討してまいります。また、臨地実習及び臨床実習につきましても、受け入れたいかどうかを含めて検討してまいります。</p>
<p>建学の趣旨や教育の方針、将来構想は、生徒、保護者等に周知されているか。</p>	<p>3.1</p>	<p>将来構想はもたれていると思うが、社会の変化に伴い、再構築も必要か？(池田)</p> <p>適切である。社会の変化に対応する柔軟性が必要か。(近藤)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、開校以来初めて長期にわたる休校を余儀なくされました。講義や実習ができなくなる事態を迎えました。このようなことに対応するため、オンライン強化を含めインテグレーション環境の整備が必要と考えております。将来的にオンライン授業導入を含めて検討してまいります。また、臨地実習及び臨床実習につきましても、受け入れたいかどうかを含めて検討してまいります。</p>
<p>2. 学校経営方針</p> <p>教育理念、目標に沿った学校経営方針が策定されているか。</p>	<p>3.4</p>	<p>情報公開に関してはホームページにより広く発信されており概ね良好である。今後さらに内容を充実させていく。(竹川)</p>	<p>小規模組織ゆえの難しさはありますが、組織を有機的に機能させていくための努力は継続して参ります。情報公開につきましては学校ホームページを中心に、進めていきたいと考えております。</p>
<p>学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。</p>	<p>2.8</p>	<p>組織マネジメントの機能を働かせるべき。昨今の社会情勢を踏まえ、職員の意識が高まり、体制整備が図られてきているものも考える。(池田)</p>	<p>小規模組織ゆえの難しさはありますが、組織を有機的に機能させていくための努力は継続して参ります。情報公開につきましては学校ホームページを中心に、進めていきたいと考えております。</p>
<p>人事、給与に関する規定等は整備されているか。</p>	<p>3.1</p>	<p>情報公開が進んでいるものも考える。(池田)</p>	<p>小規模組織ゆえの難しさはありますが、組織を有機的に機能させていくための努力は継続して参ります。情報公開につきましては学校ホームページを中心に、進めていきたいと考えております。</p>
<p>地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。</p>	<p>3.4</p>	<p>適切である。人材確保の観点からも組織の機能を向上させることは重要である。(近藤)</p>	<p>小規模組織ゆえの難しさはありますが、組織を有機的に機能させていくための努力は継続して参ります。情報公開につきましては学校ホームページを中心に、進めていきたいと考えております。</p>
<p>教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。</p>	<p>3.4</p>	<p>情報公開が進んでいるものも考える。(池田)</p>	<p>小規模組織ゆえの難しさはありますが、組織を有機的に機能させていくための努力は継続して参ります。情報公開につきましては学校ホームページを中心に、進めていきたいと考えております。</p>
<p>3. 教育活動</p> <p>教育理念、目標に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか。</p>	<p>3.4</p>	<p>教育課程の編成・実施方針は良好に策定されており、カリキュラムは適正である。さらに生徒が自身の達成度を振り返りができるように、卒業まで一貫してポートフォリオを作成し、評価を行うシステムを導入を検討されたい。教員の確保及び資質向上のため体系的なファカルティ・デベロップメントの導入を検討されたい。(竹川)</p>	<p>ご指摘の成績評価方法につきましては検討を進めてまいります。ファカルティ・デベロップメントは、これまでの外部団体主催行事への参加のみならず、学内でのシステム構築を検討してまいります。歯科における新しい技術や材料につきましても、本校教員に対する、歯科医師会や納入業者による講習会、研修会導入を検討してまいります。</p>
<p>カリキュラムは体系的に編成され、学修時間の確保は明確化されているか。</p>	<p>3.8</p>	<p>コロナ禍の中でも授業時数が確保され、教育課程が編成し直され、最適に実施されたものと受け止めている。経営の核の一つが「人事」であるので、しっかりと行っていく必要がある。コロナ禍の中では研修の充実が難しく、自己評価の結果が低くなったのは、やむを得ないかと考える。(池田)</p>	<p>ご指摘の成績評価方法につきましては検討を進めてまいります。ファカルティ・デベロップメントは、これまでの外部団体主催行事への参加のみならず、学内でのシステム構築を検討してまいります。歯科における新しい技術や材料につきましても、本校教員に対する、歯科医師会や納入業者による講習会、研修会導入を検討してまいります。</p>
<p>成績評価、単位認定、進級、卒業の基準は明確化されているか。</p>	<p>3.1</p>	<p>コロナ禍の中でも授業時数が確保され、教育課程が編成し直され、最適に実施されたものと受け止めている。経営の核の一つが「人事」であるので、しっかりと行っていく必要がある。コロナ禍の中では研修の充実が難しく、自己評価の結果が低くなったのは、やむを得ないかと考える。(池田)</p>	<p>ご指摘の成績評価方法につきましては検討を進めてまいります。ファカルティ・デベロップメントは、これまでの外部団体主催行事への参加のみならず、学内でのシステム構築を検討してまいります。歯科における新しい技術や材料につきましても、本校教員に対する、歯科医師会や納入業者による講習会、研修会導入を検討してまいります。</p>
<p>教育の方針達成に向けた授業担当教員を確保しているか。</p>	<p>2.1</p>	<p>コロナ禍の中でも授業時数が確保され、教育課程が編成し直され、最適に実施されたものと受け止めている。経営の核の一つが「人事」であるので、しっかりと行っていく必要がある。コロナ禍の中では研修の充実が難しく、自己評価の結果が低くなったのは、やむを得ないかと考える。(池田)</p>	<p>ご指摘の成績評価方法につきましては検討を進めてまいります。ファカルティ・デベロップメントは、これまでの外部団体主催行事への参加のみならず、学内でのシステム構築を検討してまいります。歯科における新しい技術や材料につきましても、本校教員に対する、歯科医師会や納入業者による講習会、研修会導入を検討してまいります。</p>
<p>教員の先端知識、技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか。</p>	<p>2.3</p>	<p>コロナ禍の中でも授業時数が確保され、教育課程が編成し直され、最適に実施されたものと受け止めている。経営の核の一つが「人事」であるので、しっかりと行っていく必要がある。コロナ禍の中では研修の充実が難しく、自己評価の結果が低くなったのは、やむを得ないかと考える。(池田)</p>	<p>ご指摘の成績評価方法につきましては検討を進めてまいります。ファカルティ・デベロップメントは、これまでの外部団体主催行事への参加のみならず、学内でのシステム構築を検討してまいります。歯科における新しい技術や材料につきましても、本校教員に対する、歯科医師会や納入業者による講習会、研修会導入を検討してまいります。</p>
<p>4. 学修成果</p>			

学校自己評価項目	自己評価	関係者評価	学校側コメント
就職率の向上が図られているか。	3.9	国家試験合格率および就職率は高く教員を始め関係者の努力の結果が見られる。卒業生のフォローアップ体制に関しては歯科医師会、同窓会などの協力の上で進められた。(竹川)	国家試験につきましては合格率100%を目標としてまいります。就職率は100%を維持しており、求人倍率は常に10倍を超える状況となっております。就職先も多様化が進みつつありますが、卒業後の生徒のフォローアップにつきましてもホームページやSNSを利用して強化してまいります。
国家試験合格率の向上が図られているか。	2.3	コロナ感染対策の影響もあつたことと思ひます。卒業後の情報は、進路指導にも生かされたいと思ひます。本学の強力な「強み」の部分であり、今後も大きな成果としてアピールしていくとよい。個に応じた指導の充実を一層進める必要がある。コロナ禍の状況が影響していると思ひますが、将来に向けて夢や希望を持たせる進路指導の充実がひつようである。(池田)	
退学率の低減が図られているか。	2.3	進路指導の充実がひつようである。(池田)	
卒業後の生徒のフォローアップがなされているか。	2.4	適切である。すばらしい数値だと思ひます。努力されていますと思ひますが、さらなる向上を期待してまいります。学生指導の難しいところだと思ひます。卒業生の相談窓口みたいなものがあると学生も安心かも。(近藤)	
5. 生徒支援			
進路、就職に関する支援体制は整備されているか。	3.4	医療および介護では口腔ケアを担当する歯科衛生士のニーズが非常に高いことを、保護者や学校関係者にさらに情報提供する。卒業生に対する支援体制に関しては卒業後勉強会などの企画を充実させていくことも一案である。(竹川)	特待生制度や指定校推薦制度による入学金、授業料減免につきまして、拡大して運用を続けております。家計急変に対応する相談窓口の強化も実施中です。今年度から始まった高等教育における負担軽減制度の周知も強化し、生徒の学業環境整備に努めてまいります。
相談に関する体制は整備されているか。	3.1		
生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.4	卒業生への支援としてメール等でやり取りできるシステムをづくりを進めてはどうか。(池田)	
生徒の健康管理を担う体制はあるか。	3.4	特に大事な項目なので強化してほしい。学生に対する支援が全体的に弱いように感じます。全体として学生に対する支援を強めてほしい。入学を希望する学生にも影響を及ぼすと思ひます。歯科医師会として返還義務のある奨学金制度が必要かも。(近藤)	
生徒の生活環境支援は行われているか。	2.9		
保護者と適切に連携しているか。	3.1		
卒業生への支援体制はあるか。	2.5		
6. 教育環境			
施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	3.3	感染症の拡大による社会状況の変化に対応するべく、WEB等を利用した学習方法を検討する必要がある。(竹川)	講義等に対するオンライン活用を検討してまいります。校舎は建築後15年が経過しており、点検強化を進めているところ。臨床実習等、外部での感染防止対策も強化してまいります。
学内外の実施設等について、十分な教育体制を整備しているか。	3.1	施設が充実しており、災害時の対応の仕方が確立しているものと受け止めた。(池田)	
防災に対する体制は整備されているか。	3.5	臨床実習先でのコロナ対策を十分して下さい。適切である。(近藤)	

学校自己評価項目	自己評価	関係者評価	学校側コメント
7. 生徒の受け入れ募集 生徒募集活動は適正に行われているか。	3.4	ホームページによる広報活動等を行っており、積極的な試みを行っている事が評価される。さらに内容の充実をされたい。職業体験、高校訪問、進学相談会への参加も積極的に行う。(竹川)	少子化が進み、18歳人口の減少が続いており、生徒募集環境は厳しさを増しています。入学希望者の情報の取り方もSNS等の発達により大きく変わりつつあります。今年度はプロモーションビデオの作成も行い、ホームページを經由した配信も開始いたしました。今後も情報発信の強化に努めてまいります。
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.1	昨年、旭東高に先生が来てくれました。生徒の進路指導上、専門的な話や異なる視点での口腔衛生の話は刺激になりました。(山本) ※就職率100%ということについては、十分周知されていると思う(池田)	
学費等納入金は妥当なものとなっているか。	3.6	DHは魅力ある仕事なので、ぜひ入学希望者にすばらしい事を伝えてほしい。適切である。(近藤)	
8. 財務 中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	2.8	地域への信頼の基となりますので、適正に行われている評価が高いことは、良いことだと思います。(山本)	設置者である旭川歯科医師会により常に財政状況の確認を行っており、中期的に財政基盤は安定しております。少子化等により学校の定員充足率が低下傾向にありますが、これらの問題に対しては長期的な視野に立った検討を進めております。
予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.1	適切である。(近藤)	
財務について会計監査が適正に行われているか。	3.4		
財務情報公開の体制整備はできているか。	3.4		
9. 地域社会貢献 臨地実習等を通して生徒、教員による地域社会貢献を行っているか。	3.2	コロナ禍の中、地域社会貢献はできなかつたと思う。今年度はやむを得ないのではないか。(池田) 今年度はコロナの影響もあり、活動が縮小するのはしかたない。(近藤)	次年度以降、新型コロナウイルス感染症の継続も前提にした地域社会貢献活動を検討します。
10. 法令等の遵守 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	3.4	自己評価の数値が下降しているが、何か懸念することがあるのであれば明らかにする必要がある。(池田)	学校自己評価及び学校関係者評価結果についてはホームページで公開しており、法令遵守に努めております。個人情報保護につきまして、情報管理の徹底や不必要な情報を取得しない等の対策を行っております。インターネット環境においてはセキュリティの強化を行ってまいります。
個人情報に関して、その保護のための対策が取られているか。	3.3	この項目は4に近づくようにしてほしい。適切である。(近藤)	
学校自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	3.1		
学校自己評価結果を公開しているか。	3.4		
11. その他の意見 自己評価の数値だけを見て意見述べるのは難しいので、他に何か材料等があれば的確な意見を述べると思う。(池田) コロナ対策で大変だったと思います。ご苦勞様でした。(近藤)			

※自己評価・・・4「適切」、3「ほぼ適切」、2「やや適切」、1「不適切」とし、平均点で算出。

<ごあいさつ>

新型コロナウイルス感染症というかつて経験のない状況の中、学校関係者評価委員会を書面会議で開催し、学外の方々のご意見をいただきました。みなさまのご意見をもとに、良き学校づくりに取り組んでまいります。

病院や介護施設等、歯科診療所以外でも歯科衛生士のニーズは高まりつつあります。一人でも多くの優秀な歯科衛生士を世に輩出していくよう努力いたします。

令和2年11月13日

一般社団法人旭川歯科医師会立

旭川歯科学院専門学校長 岩田谷 隆